

大阪旭こども病院から患者保護者の皆さんへ “今知ってほしい” 情報を発信します

食中毒に気を付けましょう！



食中毒が発生しやすい時期です。症状は下痢、腹痛、発熱、悪心、おう気、おう吐、頭痛、悪寒、倦怠感などです。原因は菌やウイルスなどありますが、原因菌を特定するには培養検査といって、菌をある程度増やさないと分かりません。症状や周りの流行状況、血液検査などである程度原因菌を絞り込んで治療をします。原因菌がはっきりわかるのは症状が治まって元気になってからのことが多いです。

主な原因菌、ウイルスを紹介します

O157（腸管出血性大腸菌）

主な原因は生の牛肉やレバー、井戸水をそのまま摂取することで発症することがあります。激しい腹痛、下痢や血便などの症状がありひどい場合には尿が出なくなったりけいれんや意識障害をひきおこすこともあります。

カンピロバクター

主な原因食品は、生あるいは加熱があまりなされていない鶏肉（鶏刺し、タタキなど）、加熱不十分な鶏肉（バーベキュー、焼き鳥など）、あるいは二次汚染された（感染された手で触ってしまった）食品などです。

サルモネラ

牛・豚・鶏などの食肉、卵などが主な原因食品です。これまでに、卵焼きやオムレツ、手作りケーキやマヨネーズなどからもサルモネラ食中毒が起きています。また、ペットからの感染も要注意です。

ブドウ球菌

ブドウ球菌による食中毒は、おにぎりや弁当、サンドイッチやケーキなど、さまざまな食品が原因となります。ほとんどの場合、菌が調理する人の手から伝わって食品に取り込まれます。特に、調理する人の手や指に傷や湿疹があったり、傷口が化膿しているような場合は、食品を汚染する確率が高くなり、注意が必要です。

ノロウイルス

一般的にはロタと並びウイルス性胃腸炎の代表ですが、ウイルス保有者により汚染された食品からも感染します。人から人への感染があり、集団感染がよくみられます。



当院の新型コロナウイルスの対応について

当院の外来で新型コロナウイルスのPCR検査は実施していません。
新型コロナウイルスの感染が疑われる場合は大阪府のホームページをご確認ください。

大阪府新型コロナ相談窓口

検索

当院の流行状況

RSウイルスがようやく減ってきました。このまま終息するでしょう。

検出数は少ないですがアデノウイルス（プール熱）が検出されています。





当院を受診される患者保護者の方へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料にご利用いただけます。（利用時間6：30～21：00）詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者さんの乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願い致します。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。
- 駐輪場側の入り口横に売店が出来ました。是非ご利用下さい。